

修了評価の方法

評価基準作成者： 佐野 正和

評価方法及び合格基準	<ol style="list-style-type: none">1. 筆記試験（レポート問題）<ol style="list-style-type: none">(1) 職務の理解から (9) ころとからだのしくみと生活支援技術までとする。2. 演習及び実技の習得状況 介護に必要な基礎的知識の理解及び生活支援技術の取得状況の評価の実技試験を行う。3. 実習評価 受講者から提出された実習日誌にて評価する。 を総合的に評価し、A・B・C・Dの4区分でC以上評価（70点以上）の受講者が評価基準を満たしたものとして認定する。 (A) 90点以上、(B) 80～89点、(C) 70～79点、(D) 70点未満4. 不合格になったときの取扱い 不合格者に関しては、再試験を実施する。(担当講師による補習費用は2,000円(税込)、再評価費用は無料)但し、補習費用が有料の為、本人の希望により、補習を受けなくても再試験することができる。 (補習なしの再試験受験は、2回までとする。補習なしの再試験で不合格となった場合は、有料の補習授業を受けないと受験できないものとする)また、再評価は、最大3回までとし、最終試験が不合格となった者は、未修了扱いとなる。
------------	--